

令和7年度 茨城県高体連 バドミントン専門部 定期総会 資料

協議題

- (1) 令和6年度行事報告
- (2) 令和6年度決算報告
- (3) 令和6年度監査報告
- (4) 令和6年度茨城県バドミントン協会決算報告
- (5) 令和7年度役員(案)
- (6) 令和7年度行事(案)
- (7) 令和7年度予算(案)
- (8) 令和7年度茨城県バドミントン協会登録案内
- (9) 令和7年度茨城県高体連個人登録案内
- (10) 全国高体連専門部運営負担金
- (11) その他
 - a 競技規則・審判員ルール教本(赤・緑本)購入について
 - b 審判委員への連絡
 - c 全国私立学校大会(8月下旬)について
 - d 関東公立学校大会(12月下旬)について
 - e 内規改正案(「V. 表彰」の記載について)
- (12) 関東大会茨城県予選会組み合わせ抽選

※ 専門部内規については、茨城県高等学校体育連盟・バドミントン専門部(<http://ibaraki-koutairen.jp>)のwebページに掲載してあります。

令和6年度行事報告

大会名	種目	期日	曜日	会場	地区予選	出場制限	運営	組み合わせ会議	結果					
関東大会予選 (関東大会本戦: 6月7～9日 神奈川県藤沢市)	学校対抗	4月25日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	無	1校1チーム	西2	4月17日(水)		1位	2位	3位	4位	
		4月26日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館				リリーアリーナMITO会議室	男子	茗溪学園	常総学院	鬼怒商業	つくば国際	
								13:00からの総会終了後	女子	常総学院	茗溪学園	つくば国際	土浦第二	
全国大会県予選 兼県民総体 (全国大会本戦: 7月30日～8月4日 佐賀県佐賀市他)	ダブルス	6月13日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共新人戦 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～7名)	水戸	6月4日(火)	個人	1位		2位		
	シングルス	6月14日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館	有			北	石岡第一高校 9:00より常任委員のみで	男D	初鹿野・青木 (常総学院)	長岡・山崎 (茗溪学園)		
										男S	三木 (茗溪学園)	長岡 (茗溪学園)		
										女D	伊藤・青木 (茗溪学園)	富士木・仁田 (常総学院)		
										女S	小林 (常総学院)	樋口 (常総学院)		
										学対	1位	2位	3位	3位
										男子	茗溪学園	常総学院	鬼怒商業	つくば国際
										女子	常総学院	茗溪学園	つくば国際	土浦第二
秋季大会	個人対抗	9月26日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	無	1校2D2S	東	9月18日(水)	個人	1位		2位		
		9月27日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館				石岡商業高校 9:00より常任委員のみで	男D	岩田・鈴木 (鬼怒商業)	田添・倉持 (石岡第一)			
									男S	岩田 (鬼怒商業)	山口 (常総学院)			
									女D	鈴木・戸倉 (常総学院)	青山・金沢 (茗溪学園)			
									女S	草間 (常総学院)	小林 (つくば国際)			
新人大会 (関東選抜大会本戦: 12月14～15日 群馬県前橋市) (全国選抜大会本戦: 3月23～26日 石川県金沢市)	ダブルス	11月7日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共全国大会 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～8名)	南	ダブルス・シングルス	個人	1位		2位		
	シングルス	11月8日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館	有			西①	10月30日(水) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで	男D	三木・山崎 (茗溪学園)	榮永・鄭 (茗溪学園)		
										男S	三木 (茗溪学園)	榮永 (茗溪学園)		
										女D	草間・樋口 (常総学院)	鈴木・戸倉 (常総学院)		
										女S	樋口 (常総学院)	草間 (常総学院)		
										学対	1位	2位	3位	3位
										男子	茗溪学園	常総学院	鬼怒商業	つくば国際
										女子	常総学院	茗溪学園	つくば国際	下妻第二
強化練習会		1月19日	(日)	石岡第一高校体育館										

令和6年度茨城県高体連専門部収支決算書

バドミントン専門部

収入の部

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減(△減)	付 記(明細を記入)
専 門 部 費	¥790,000	¥790,000	¥0	高体連分配金
大会運営費補助徴収金	¥ -	¥ -	¥0	
協会連盟補助	¥ -		¥0	
繰 越 金	¥ 78,036	¥ 78,036	¥0	
雑 収 入	¥ -	¥ 30	¥30	利息
合計	¥868,036	¥868,066	¥30	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減(△減)	付 記(明細を記入)
大 会 運 営 費	¥620,000	¥581,915	△ ¥38,085	
関東予選	¥190,000	¥237,920	¥47,920	会場使用料(石岡) ¥26,720 シャトル代 ¥211,200
全国大会	¥110,000	¥205,820	¥95,820	会場使用料(水郷) ¥60,620 シャトル代 ¥145,200
新人大会	¥220,000	¥53,405	△ ¥166,595	会場使用料(水郷) ¥53,405 ※シャトル代は協会より補填
選抜大会	¥0		¥0	
秋季大会	¥100,000	¥84,770	△ ¥15,230	会場使用料(水郷) ¥84,770
会 議 費	¥15,000	¥41,360	¥26,360	関東会議費 ¥20,000 総会・常任委員会会場費 ¥21,360
通 信 費	¥5,000	¥0	△ ¥5,000	
旅 費	¥40,000	¥81,894	¥41,894	関東会議委員長旅費 ¥42,000 派遣審判員旅費 ¥39,894
消 耗 品 費	¥10,000	¥5,600	△ ¥4,400	赤本購入費
加 盟 負 担 金	¥55,000	¥50,000	△ ¥5,000	関東分担金 ¥20,000 全国分担金 ¥30,000
強 化 費	¥120,000	¥99,165	△ ¥20,835	強化練習会シャトル代金等
雑 費	¥3,000	¥7,454	¥4,454	振込手数料等
予 備 費	¥36	¥0	△ ¥36	
合 計	¥868,036	¥867,388	¥678	次年度繰り越し

(収入) - (支出) = ¥678 を令和7年度に繰り越します。

令和 7 年 2 月 21 日
上記のとおり相違ありません。

部 長 名 櫻井 隆之
記 載 責 任 者 松橋 侑樹

令和6年度の専門部の決算を監査したところ、出納が正確であり、帳簿等証拠書類とも適正であることを認める。

令和 7 年 2 月 21 日 会 計 監 査 柿沼 宏文

※決算書原本には押印されておりますが、個人情報保護のため、陰影を省略させていただきます。

令和6年度 バドミントン協会登録費等 収支決算報告書

令和7年4月15日

収入の部

項 目	金 額	摘 要
協会登録費より	401,200	
県協会より	400,000	
繰越金	2,571,589	
雑収入	543	利子
合計	3,373,332	

支出の部

項 目	金 額	摘 要
専門部補助	406,000	大会シャトル代、地区補助シャトル代
強化練習会補助	70,000	
合計	476,000	

残高

3,373,332 - 476,000 = 2,897,332

残金は、次年度に繰り越します。

高体連バドミントン専門部協会登録係

飯岡 史弥

令和7年度 バドミントン専門部役員(案)

部長	櫻井 隆之	〔石岡第一〕		
副部長	田中 一豪	〔下館工業〕		
委員長	安藤 芳正	〔波崎〕		
副委員長	淀縄 将人	〔石岡第一〕	小野田 剛志	〔水海道第一〕
強化委員長	磯部 和弘	〔常総学院〕		
強化副委員長	青山 真	〔つくば国際大学〕	飯岡 史弥	〔土浦第一〕
記録委員長	山崎 文士	〔伊奈〕		
記録副委員長	多田野 清人	〔下館第二〕	横瀬 修也	〔藤代〕
審判委員長	富田 大輔	〔土浦第二〕		
副委員長	蒲地 泰香	〔下妻第一〕	伊藤 公人	〔常磐大学〕
総務委員長	丹代 敬伸	〔緑岡〕		
総務副委員長	吉田 俊則	〔下館第二〕		
事務局	増渕 広道	〔下館工業〕		

(輪番制) 北→水戸→東→南→西1→西2(2年任期) ※西1の輪番1年目

監査 吉井 美幸 〔下館第一〕

地区委員長

【県北】 木戸 孝明 〔高萩清松〕

【水戸】 関 佑太 〔茨城〕

【県東】 清宮 望 〔清真学園〕

【県南】 松橋 雄太郎 〔土浦湖北〕

【県西①】 榮永 悦宏 〔鬼怒商業〕

【県西②】 大林 克 〔下妻第二〕

審判委員

【県北】 4 人

【水戸】 8 人

【県東】 1 人

【県南】 10 人

【県西①】 6 人

【県西②】 5 人

審判委員計 34 人

令和7年度行事計画(案)

2025年4月8日

大会名	種目	期日	曜日	会場	地区予選	出場制限	運営	申し込み締切	組み合わせ会議
関東大会予選 (関東大会本戦: 6月6～8日 群馬県前橋市)	学校対抗	4月25日 4月26日	(金) (土)	霞ヶ浦文化体育会館 霞ヶ浦文化体育会館	無	1校1チーム ※試合形式 2複1単(5～7名)	西2	4月11日(金) web(入力フォーム)から申し込み (総会出欠連絡とともに)	4月15日(火) アダストリアみとアリーナ会議室 13:00からの総会終了後
全国大会県予選 兼県民総体 (全国大会本戦: 8月4日～9日 山口県防府市)	ダブルス	6月12日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共昨年新人戦 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～7名)	水戸		6月3日(火) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで
	シングルス	6月13日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館					
	学校対抗	6月19日	(木)	笠松運動公園体育館	有		北		
		6月20日	(金)	笠松運動公園体育館 (男女ベスト8以上)					
秋季大会	ダブルス	9月18日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	無	1校男女とも2D2S	東	9月8日(月) web(入力フォーム)から申し込み	9月10日(水) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで
	シングルス	9月19日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館					
新人大会 (関東選抜大会本戦: 12月18～20日 東京都葛飾区) (全国選抜大会本戦: 3月24～28日 香川県高松市)	ダブルス	11月6日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館	有	男女とも 各地区加盟校数分 ※男女共全国大会 ベスト8まで推薦 1校1チーム ※試合形式 2複3単(5～7名)	南		ダブルス・シングルス 11月4日(火) 石岡第一高校 9:00より常任委員のみで ※学校対抗の組み合わせは 個人対抗シングルス終了後 試合会場で常任委員のみで
	シングルス	11月7日	(金)	霞ヶ浦文化体育会館					
	学校対抗	11月12日	(水)	霞ヶ浦文化体育会館	有		西1		
		11月13日	(木)	霞ヶ浦文化体育会館 (男女ベスト8以上)					
強化練習会		1月頃実施				詳細は後日			

令和7年度茨城県高体連バドミントン専門部予算書

記載者氏名 松橋 侑樹 印

収入の部

単位:円

項 目	7年度予算額	6年度予算額	増減(△減)	摘 要
専 門 部 費	¥ 790,000	¥ 790,000	¥ -	高体連分配金
大会運営費補助徴収金	¥ -	¥ -	¥ -	
協会連盟補助	¥ -	¥ -	¥ -	
繰 越 金	¥ 678	¥ 78,036	△ ¥77,358	
雑 収 入	¥ -	¥ -	¥ -	
合 計	¥ 790,678	¥ 868,036	△ ¥77,358	

支出の部

項 目	7年度予算額	6年度予算額	増減(△減)	摘 要
大 会 運 営 費	¥558,000	¥620,000	△ ¥62,000	
関東予選	¥170,000	¥190,000	△ ¥20,000	シャトル 体育館使用料
全国大会	¥110,000	¥110,000	¥0	シャトル
新人大会	¥200,000	¥220,000	△ ¥20,000	シャトル 体育館使用料
秋季大会	¥78,000	¥100,000	△ ¥22,000	
会 議 費	¥ 40,000	¥ 15,000	¥25,000	関東会議費 県総会会場代
通 信 費	¥ 1,000	¥ 5,000	△ ¥4,000	FAX, 切手, 郵送代
旅 費	¥ 40,000	¥ 40,000	¥0	
消 耗 品 費	¥ 1,000	¥ 10,000	△ ¥9,000	筆記用具, プリ ンタインク
加 盟 負 担 金	¥ 50,000	¥ 55,000	△ ¥5,000	関東分担金 全国分担金
強化費	¥ 100,000	¥ 120,000	¥20,000	
雑 費	¥ 678	¥ 3,000	△ ¥2,322	高体連登録決済代行 手数料など
予 備 費	¥ -	¥ 36	△ ¥36	
合 計	¥ 790,678	¥ 868,036	△ ¥77,358	

令和 7 年 4 月 1 日

上記のとおり相違ありません。

部 長 名 櫻井 隆之 印

記 載 責 任 者 松橋 侑樹 印

令和7年4月1日

各高等学校長 殿

茨城県バドミントン協会 会長 幡谷 定俊
茨城県高体連バドミントン専門部 部長 櫻井 隆之

令和7年度 日本バドミントン協会への会員登録および更新について

春暖の候、先生方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、上記の件につきまして、ベンチ入りする選手・教員は高体連への登録のほか、日本バドミントン協会への登録および更新が必要となっております。下記の要領で行いますので、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 対 象 高体連主催のバドミントン大会に出場する生徒および顧問の教員、外部指導者
- 2 登録料 高校生 1名 1,000円
教 員 1名 2,400円（中体連にて登録済の場合、高体連では登録の必要なし）

3 登録方法

I. 登録手順

0. 管理者の変更

昨年度と管理者（登録業務をしていただく先生）が変更になる場合は以下のフォームより、「管理者」の情報を登録してください。昨年度と同じ先生が登録業務をされる場合は必要ありません。

●管理者情報登録フォーム

<https://forms.gle/53xb8ZUR6AN82poSA>



1. 日本バドミントン協会登録サイトにて登録作業

日本バドミントン協会のホームページにて教員、生徒の情報を登録してください。

●日本バドミントン協会会員登録サイト

<https://members.badminton.or.jp/nbarv/KNLOGIN.ffc>



2. 登録料の振込

登録サイトにて選択した方法にて、登録料を振り込んでください。

※詳しくは「日本バドミントン協会への会員登録及び更新方法について」を参照ください。

II. 登録期間

管理者登録・変更期間 4月19日(金)まで

登録作業及び登録料振込 年度始： 4月26日(土)まで

追 加： 9月10日(水)まで

※年度始・・・関東大会県予選会、IH予選に参加する教員及び生徒の登録

追 加・・・それ以降の大会に参加する教員及び生徒の登録

4 注意事項

- (1) 日本バドミントン協会へ未登録の場合は、すべての大会に出場できません。
- (2) ベンチ入りする教員、外部指導者等は必ず登録および更新してください。未登録・未更新の場合はベンチ入りできません。
- (3) この登録は日本バドミントン協会へのものです。高体連の登録とは別のもので注意して下さい。
- (4) 振込手数料は各校負担でお願いいたします。

令和 7 年 4 月 15 日

茨城県高体連バドミントン専門部加盟校 各位

茨城県高体連バドミントン専門部

部長 櫻井 隆之

令和 7 年度茨城県高等学校体育連盟登録の料金払込方法について（依頼）

時下、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件については今年度も「コンビニエンスストア決済」となります。本専門部加盟校は以下の手順で登録いただき、払込くださいますようお願い申し上げます。

【手順】

- ① 茨城県高体連バドミントン専門部 Web サイトの「申請書類」内にある Excel ファイル「高体連登録用紙」をダウンロードし、必要事項を入力する。
- ② 必要事項を入力した Excel ファイル「高体連登録用紙」を、茨城県高体連バドミントン専門部事務局へ E メール（ibakoubad@gmail.com）する。

その際、件名を「校名_高体連個人登録」と記してください。（例：〇〇_高体連個人登録）

【手順②までの締切日】前期登録：6月20日（金）・後期登録（追加）：11月13日（木）

- ③ 専門部事務局にて決算代行社（株式会社カワイアシスト）へ手続きが行われ、その後に各学校へ払込用紙が送付されます。
- ④ 払込用紙に記されている払込期日※までに、各学校でコンビニエンスストアにてお支払いください。

※払込期日を過ぎると、払込用紙は使用できなくなります。ご注意ください。

改めて振込用紙を発行する際は、**払込用紙手数料 220 円が追加徴収**されます。

【注意事項】

- 領収書につきましては、コンビニ払込用紙に付属されている「払込受領書」が領収書となります。
- お支払いの際に**払込用紙発行手数料として、別途 220 円およびコンビニ振込手数料が加算**されることをご了承ください。
- 後期登録（追加）につきましては、9 月頃に改めて連絡いたします。
- 大会へ出場するにあたり**この登録（高体連）ならびに日本バドミントン協会登録は、必ず行ってください。**

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

連絡先

茨城県高体連バドミントン専門部 事務局

下館工業高等学校 増渕 広道

TEL：0296-22-3632 FAX：0296-25-4693

事務局 E メールアドレス

<mailto:ibakoubad@gmail.com>

令和7年4月7日

学校長 様

公益財団法人全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部

部 長 菊 地 亨



(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部ではインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で専門部運営負担金の徴収をお願いしております。各都道府県専門部におかれましては、下記の要領で徴収をお願いいたします。

インターハイ開催及び専門部運営には収入源が乏しい中ではありますが多額の経費がかかります。インターハイ開催経費確保や開催地負担の軽減問題及び専門部運営については、運営のスリム化とともに今後も継続して取り組んでいかなければならない問題です。専門部運営負担金については関係者に対してさらなる趣旨説明と適切な運用をしてまいります。今後とも本連盟の取り組みに対し、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1、名 称 専門部運営負担金
- 2、徴収目的 インターハイの安定開催及び専門部運営費補助
- 3、対 象 各都道府県におけるインターハイ予選 学校対抗団体戦出場校(男女別)
1部2部での実施等や大会名を変えて団体戦を実施している場合でも、インターハイ予選に出場したとみなします。漏れの無いようにお願いいたします。
- 4、徴収金額 1チーム 1,000円
- 5、徴収金額総額の見込み額 500万円
- 6、徴収方法 各都道府県申込みまたは大会開催日に各都道府県専門部で徴収 → 各都道府県専門部から一括で全国専門部指定口座入金
- 7、徴収金の使途
インターハイ補助 300万円(旅費補助280万円、大会補助20万円)
専門部運営費補助 200万円(常任委員会費(1月、2月)130万円)
(次期インターハイ開催地会場視察費20万円)
(小委員会旅費50万円)
- 8、入金先 お振込先は専門委員長に別途連絡しますので、6月30日までに都道府県ごと一括でのご入金をお願いいたします。また、お振込みは都道府県名で行い、分担金とは別にお振り込みをお願いいたします。
- 9、連絡先

長野県諏訪郡下諏訪町 7401 長野県下諏訪向陽高校

新 井 研 二 Tel.0266-28-7594

令和 7 年 4 月 15 日

茨城県高体連バドミントン専門部
各地区委員長 殿

茨城県高体連バドミントン専門部
部 長 櫻 井 隆 之

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

さて、平成 29 年度より(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部においてインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で、各都道府県におけるインターハイ予選学校対抗戦へ出場校(男女別)より運営負担金を徴収させていただいております。

令和 6 年度につきましても例年通り徴収していただき、県予選組み合わせ会議または大会時に徴収金と内訳【出場校(男女別)】を専門部委員長または事務局まで納入ください。

領収書は、徴収金の受領時に各校へお渡しください。なお、領収書に専門部長印が必要な際は、各校で専門部委員長または事務局まで申し出るようお願いください。

負担金の案内文ならびに領収書については、本専門部 Web サイトから「(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について」をダウンロードして各校へ案内をしてください。

ご多用のなか誠に申し訳ありませんが、周知と理解の程よろしくお願いいたします。

記

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 名 称 | 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金 |
| 2 | 徴収目的 | インターハイの安定開催及び専門部運営費補助 |
| 3 | 対 象 | 各都道府県におけるインターハイ予選 学校対抗団体戦出場校(男女別)※
※男女ともに出場ならば、2 チームとなります |
| 4 | 徴収金額 | <u>1 チーム 1,000 円</u> |

令和 7 年 4 月 15 日

茨城県高体連バドミントン専門部
部 長 櫻 井 隆 之

目頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

各地区予選において、学校対抗戦に出場する学校は男女別で1チーム1,000円を徴収させて頂きます。(男女ともに出場ならば、2チーム2,000円となります)

つきましては、各地区組み合わせ会議または予選時に『負担金と下記の領収書』を地区委員長まで納入ください。(領収書に専門部長印が必要な際は、負担金納入校が専門部委員長または専門部総務部・事務局まで申し出てください)

校名 高等学校 様

金 門

ただし、令和7年度（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金として

茨城県高体連バドミントン専門部
部 長 櫻 井 隆 之

令和7年度競技規則(赤本)・審判員資格検定会ルール教本(緑本)購入申込について

審判部

専門部の購入希望をまとめて、県協会に注文します。

購入を希望される方は、下記のフォームより申込をお願い致します。

代金は競技規則(赤本)が 880 円、審判員資格検定会ルール教本(緑本)が 660 円となります。

代金は後日徴収させていただきます。

よろしくお願い致します。

申込フォーム <https://forms.gle/H6MBEbx17AnAHZy87>

締切日 4/26(土)

問い合わせ先 県立土浦第二高等学校 富田 大輔

[TEL:029-822-5027](tel:029-822-5027)

E-mail: tomita.daisuke@mail.ibk.ed.jp

〈内規改正について〉

案： 「Ⅴ. 表彰」の内容を改正
(現行の「優秀選手」の選考・表彰をなくし、現行の表彰の内容を掲載する。)

理由： 対象選手には賞状と1000円ほどの景品(ソックス)を贈呈しているが、その選手にはすでに県高体連・県スポーツ協会からの賞状が渡されており、また近年の物価高騰のあおりを受けて大会運営費が切迫していることから、その景品代を運営費に回したい現状があるため。

・現行

1. 優秀選手選考基準

(1)対象とする試合

全国大会県予選(国体県予選)個人戦(シングルス、ダブルス)

(2)表彰人員

a.原則として男女共各10名程度とする。

b.学年にこだわらない。

(3)得点換算

a.シングルス

1位(15点) 2位(12点) 3位(9点)

4位(6点) 5～8位(各3点)

b.ダブルス

1位(1人10点) 2位(1人8点) 3位(1人6点)

4位(1人4点) 5～8位(1人2点)

(4)常任委員会に於て選出し、全国大会県予選学校対抗の開会式において表彰する。

改正

1.表彰対象

(1)全国大会県予選

・男女個人対抗(ダブルス、シングルス)・学校対抗の1位～8位までを表彰。県高体連からの賞状を贈呈。各優勝には優勝杯も贈呈。

・国民スポーツ大会予選も兼ねているため、県スポーツ協会からの賞状も同者に贈呈する。

(2)秋季大会

・男女個人対抗(ダブルス、シングルス)・学校対抗の1位～4位までを表彰。県高体連からの賞状を贈呈。

(3)新人大会県予選

・男女個人対抗(ダブルス、シングルス)・学校対抗の1位～4位までを表彰。県高体連からの賞状を贈呈。各優勝には優勝杯も贈呈。

インターハイ・全国選抜大会におけるウェア表示 及びステンシルマークに関する本専門部独自の申し合わせについて

(公財)全国高体連バドミントン専門部

2025年3月24日

高校生の競技者を対象に、全国高体連では企業の広告に関わることを禁止しています。

ウェアの 背面・前面等の表示については、下記の本専門部独自の申し合わせを除き、(公財)日本バドミントン協会(以下、日バという)の大会運営規程に則っていますが、標記大会で着用する着衣に新規プリントをする際は、最新の赤本・緑本を基本とし、下記申し合わせ事項について十分ご注意ください。

もし、判断がつかない場合は、プリント印刷発注前に所属する全国高体連バドミントン専門部各ブロック長に確認をとってください。

ラケットに入れるステンシルマークについては、日バの2016年の通知により、条件を満たせば認められていますが、本専門部独自の申し合わせにより標記大会では広告と見なし使用禁止とします。

	解 説	禁止する表示
背面表示	規定のサイズ、書体、配色にて2段の日本語表示とし、上段は学校名、下段は都道府県名か、それに準じる「北北海道・南北海道・東東京・西東京」のみとする。 また、この条件を充たしたゼッケンも可とする。	× 背番号 × スポンサー名、 × 氏名 × ロゴや広告
前面表示	胸前は規定サイズ内にて、学校名(略称可)及び学校名に連動した校章類のロゴを認める。	× 前番号 × スポンサー名 × 広告
その他の着衣	その他、上衣には規定箇所とサイズ内にて、1カ所、校章類のロゴを認める。 下衣にはいかなる表示も認めない。	× スポンサーロゴ × チーム名 × 番号
ラケット	国際大会では検定合格したラケットメーカーのステンシルマーク入りのラケットの使用を認める場合がある。	× ラケットメーカーのロゴを含めすべてのステンシルマーク

令和6年7月26日
(公財) 全国高体連バドミントン専門部

全国選抜バドミントン大会のマネージャーの取り扱いについて

全国選抜バドミントン大会におけるチーム編成について下記の通り変更します。

記

チーム編成

監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以上7名以内とする。但し、マネージャーは選手を兼ねることができる。

令和6年度石川選抜大会より実施いたします。インターハイは令和7年度山口大会から実施いたします。

以上、よろしくお願いします。

令和 6 年 2 月 2 日
(公財) 全国高体連バドミントン専門部

インターハイ・選抜大会における応援方法の周知徹底について

新型コロナウイルス感染症 5 類移行により、声出し応援の再開となりましたが、従前の「歌や長い応援」が再出したことを受け、あらためてスムーズな大会運営につながる、節度を持った応援についてご理解とご協力をお願いいたします。

【北海道総体(現行)】

応援については、放送が聞こえず運営に支障が出たり、プレーの妨げや周囲の観客への迷惑などの理由により、太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用すること、歌や長く手をたたくこと、学校対抗のベンチ、及び観客席で立ち上がることは禁止します。監督が責任を持って指導してください。

【佐賀総体以降】

応援については、プレーの妨げだけではなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は 10 秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。